

「我が愛する千厩高校」

校長 熊谷 道仁

学校は本来とても楽しい場所です。毎日何かが起こり、誰かが笑い感動し、成長しています。人はたくさんの人の中で自分自身を確認し、自分らしさに気づき、希望を抱きますから、学校ほど全部そろっている社会はそうはありません。学校に行けば、先生や仲間と共に勉強し、行事に取り組み、部活動に励むなど没頭できる事が必ずあります。毎日がミュージカルのようなものです。主演も脇役も大道具も小道具も、裏方さんも含めて、毎日新たな舞台が構成され、新たな幕が上がります。

千厩高校がめざす学校は、『居心地のよい学校』。そのために、○フェアな行動をする（卑怯な振る舞いをしない）○ユーモアや笑いを忘れない（そこにいる人々みんなが温かな幸せにつつまれる笑い）○人が頑張っていることを応援する（仲間に拍手を送ろう）の3つを具体的な行動テーマとして掲げています。さらに、千厩高校は『ちょうどいい学校』なのです。○すべての進路目標達成が可能○地域連携がさかん○先生と生徒の距離が近いという理由からです（生徒談）。自分自身に適度な負荷をかけながら1人ひとりのペースで学び続け頑張る生徒たちが千厩高校を支えています。主体的な生徒会執行部の活動、笑顔いっぱいに汗を流しながら勝ちたい意欲を持ち続ける部活動、困っている仲間にさりげない言葉をかける優しい空気、みんなで笑い合おうとする盛り上がり、どこか昔懐かしい古き佳き雰囲気在校風として残しているのが千厩高校。

先生も生徒も地域の人も、みんな大好き千厩高校！